

# 酒販ニュース

7月11日 2004年(平成16年) 第1498号

【昭和35年4月15日第3種郵便物認可】毎月1、11、21日発行/購読料1カ年14,700円(税込) ■発行所・株式会社醸造産業新聞社 ■本社・〒101-0044東京都千代田区鍛冶町2-5-5神田駅前SKビル(電)03-3257-6841・FAX03-3257-4939/関西支局・〒530-0044大阪市北区東天満2-9-4千代田ビル東館(電)06-6356-0325・FAX06-6356-6909/郵便振替口座00110-5-14639/電子メール:shuhan-news@jsnews.co.jp/URL:http://www.jsnews.co.jp



## 「日本酒体験したいから」

清酒組合「女性のためのスクール」活況  
東京・港区の酒ブラザ「酒スクール」が開校。講  
(清酒組合中央会)で6 義後の懇親会で、クラシ  
日から「女性のためのお ベリージュースを使った

カクテルで乾杯すると、  
初体験の味わいに驚きの  
声。「のどごし」「ぐるめ」  
「いやし」の三つのタイ  
プの300ml瓶入りの清  
酒を次々手に取り、生春  
巻きなどのつまみとも  
に楽しみ、美容効果につ  
いて講師に質問する姿も  
みられた。毎週火曜夜、  
27日まで全四回で一万五  
千円。「自分の好きな酒  
を見つけたいから」と、  
学ぶ意欲は満々だ。

### ■主な記事■

8月27日に  
各署で公告

緊急調整地域  
指定手続決定 **2・3**

「五輪特需」狙い  
業者問取引活発 **4**  
ギリシャ産酒類

「ビール味」  
全体は退潮 **6**  
全酒類免許

比率8割に **10~12**  
スーパー200社  
本紙全国調査

低アル飲料特集

**16~25**

# 収量過去最高を更新

南アフリカ・オーストラリアとも

## 2004年 収穫速報

### 南ア プレミアム用は収量減 豪州 白ワイン用の在庫回復

オーストラリア、南アフリカの両ワイン生産国の公的機関が2004年産ブドウの収穫速報を発表した。これによると、両国とも生産量の記録を更新、作柄も全般に良好としている。

【南アフリカ】南アフリカワイン協会(WOSA)によると、2004年の南アフリカ全体のブドウ収量は予想よりも多く、前年対比六・五%増の一〇二万t(フランデー・ノンアルコールドリンク用含む)と、過去最高を更新した。しかしうちワイン用は一・五%減の七〇万t(いずれも搾汁した液量換算)。「破碎された果実の状態は非



常「良好」としている。WOSAのスーパー・バーチ会長によれば「夏らしいくない涼しい天気が続

き、収穫は通常3月末で終わるのに4月までずれ込んだ。またブドウが均等に完熟せず、ワイナリーでの選果が非常に重要な年となった。プレミアム用ブドウが一・五%減の収量となったのは、未熟果を排除したことによる。成熟期間が例年より長かったことで、品質に期待がかかる」という。最も収量が多かったのは、「オレンジ・リバー」「ウスター」地区。「オレンジ・リバー」は二六%増と記録的な収量となった。

### ●標高1000m 「今年に入り数社が進出、この地の地場品種の挑戦で名を馳せたベナンティ社も、北部の畑を買い増した」とトスカーナの「テヌータ・ディ・トリノ」の醸造家アンドレア・フランケッティ氏は言う。同氏もこの地に興味を示し、三年前畑を購入した。

### DOCエトナのエトナ山は活火山で、その麓のテラス状の畑は火山灰質・砂質の土壌。パウダー状の土壌であることから、根が地中奥深くまで張っても呼吸が

### 活火山の産地 ———— イシチリア

できる特徴がある。エトナ山といえば、02年

に噴火があり、畑への影響などが懸念され話題になった場所。地元の関係者によれば、「噴火が起きるたび、溶岩が下から湧き出てくる

26℃、最低3℃と昼夜の気温差が激しい気候。この環境が生産者の興味をひく

理由の一つ。●「ネレッロ」の再生

「ネレッロ」は黒という意味で、「ネレッロ」は「それほど黒くはない」の意。前出のフラ

ドネやリースリング、メルロなど欧州貴品種に取り組み者も少なくない。イタ

リアにもおきた80〜90年代の品質見直しの波は、当時エトナまで波及しなかつた。「この地は今やっと改革が始まったところだ」

(前出・フランケッティ氏)

△用ブドウが一・五%減の収量となったのは、未熟果を排除したことによる。成熟期間が例年より長かったことで、品質に期待がかかる」という。

「ステレンボッシュ地区」はシラースとピノタージュの生産量が多く、果房はおおぶり。シラースは特に良好だった。晩

熟のカベルネ・ソーヴィニオンはpHが高く酸度が上がらなかった。

【オーストラリア】

一方、オーストラリアの2004年の収穫は、一

二五%増となった。

例年並みの季節条件が揃ったことに加え、新しい産地からの収穫が得られるようになったことが増加要因。二五%のうち増加五分は新しい産地からの収穫によるもの。

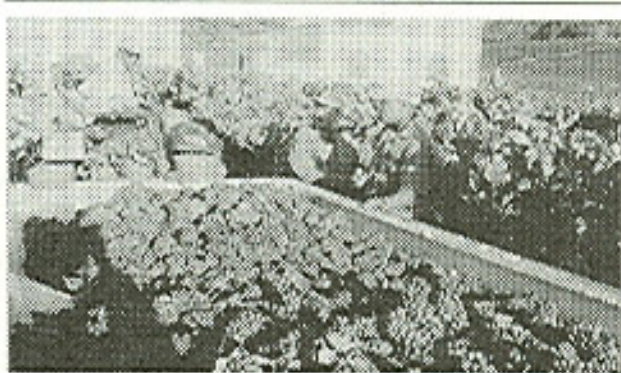
白の生産量が増え、減少していた白ブドウ品種も、最小限の被害にとどまった。

ウは、収穫量の増加分が「間引き量」を上回ったため、供給過剰傾向は助長される見通し。

冬場に十分な雨が降り、春は全般的に涼しく、収穫の条件が整った。12月は暑い陽気だったが局地的に霜と雹があった。

2月には一時的な熱波に見舞われたが、2月初めに以降は、全般的に穏やかな乾燥した天候で、長い成熟期間が得られた。多くの地方が経験した熱波も、最小限の被害にとどまった。

熟のカベルネ・ソーヴィニオンはpHが高く酸度が上がらなかった。



例年並みの季節条件が揃ったことに加え、新しい産地からの収穫が得られるようになったことが増加要因。二五%のうち増加五分は新しい産地からの収穫によるもの。

ウは、収穫量の増加分が「間引き量」を上回ったため、供給過剰傾向は助長される見通し。